

## 研究発表促進プログラム応募要領

本プログラムは、これから研究者としてのキャリアを歩み出そうとする若手の研究者が、支部大会での研究発表に取り組みやすくするための促進プログラムです。

2024年度までのように、独立した応募・審査プロセスではなく、応募から審査までは支部大会と連動しています。そのため、年度内に2回の募集があります。

支部大会での発表後、得られたフィードバックを踏まえて成果を報告していただくとともに、簡単な会計報告を提出していただきます。

本プログラムの主旨に合致する多くの方の応募をお待ちしております。

### 1. 応募方法

- a. 支部大会の発表申し込み時に、本プログラムの適用を希望する旨を明記する。
- b. 締め切りや提出方法などは支部大会の方式に準じる。

### 2. 応募資格

- a. 応募時点で、常勤職にない者（大学院生・任期付きの常勤職を含む）。
- b. 年齢制限は特に設けない。
- c. 以上の条件を満たす限り、繰り返しの応募は妨げない。

### 3. 審査と対象

- a. 支部大会発表についての審査で採択された場合、本プログラムの申請も採択されたとみなす。
- b. 希望多数の場合は、採択された支援プログラム申請の中から予算が許す範囲で、応募順や過去の支給歴等を考慮して支援対象を決定する。

### 4. 成果発表

- a. 本プログラムの対象となった発表については、大会プログラムや要項にその旨を記載する。
- b. 対象となる発表ごとに Google Forms を用意し、その QR コードをプログラム等に掲載し、視聴者からのフィードバックを受け、発表者に通知する。

### 5. 報告

- a. 支部大会での発表終了後、フィードバックの内容も盛り込んで、大会後1ヵ月以内に発表に関する報告を提出する。
- b. 報告の提出が確認された後に支援金を支給する。
- c. 支援金の支給から2ヵ月以内に、領収書を添えた会計報告を提出する。

### 6. その他

- a. 本プログラムに割り当てられた年間予算を支部大会に分割し、それぞれの枠内で支援金を支給する。
- b. 期限内に報告の提出がなかった場合、本プログラムの支援は中止され、次回の支部大会の発表応募では本プログラムの適用希望は認めない。  
例) 春季大会で支援対象となり、発表は行ったが、期限までに報告が提出されない場合は、支援金の支給は行わず、次の秋季大会では研究支援プログラムに希望することはできない。